

いては、1から4ポイントと、小学校よりも全国との差は小さい傾向にあります。

次に新冠町の調査結果についてですが、小学校の国語では、A・B問題とも全道と比べ低い結果となりました。算数では、A・B問題とも全道よりやや低い結果となりました。しかし、中学校の調査結果では、国語・数学の全調査において全道を1から4・6ポイント上回る結果となりました。特に数学Aでは、全国を1ポイント上回る結果となりました。

新冠町教育委員会としても、各学校に対し調査結果を真摯に受け止め、具体的な取組例といたしまして、個に応じた指導等授業の改善・家庭学習への課題の適切な出題・課題の多い児童生徒への基礎・基本の定着・保護者との連携強化等を継続して取り組むとともに、一層「繰り返し指導の充実」・「授業評価を生かす」等指導の工夫改善を図るよう、学校への指導を行ったところであります。

2つ目は、指導主事の学校訪問についてであります。

参事が同行し、朝日小学校は11月25日、新冠小学校は12月3日、新冠中学校は12月9日に実施されました。各学校は自校学校課題解決に向け特設授業や全学級授業公開・全体研修の実施と内容のある指導主事訪問となりました。全体研修においては、3校とも指導技術向上に向けた取組と23年度小学校において新学習指導要領の本格実施に向けた外国語活動・算数数学科における学力向上や、学校の抱える研修課題解決に向け指導主事を有効に活用して

研修活動が実施されました。2点目は、豊かな心身の育成についてであります。

新冠小学校では10月22日の学習発表会、朝日小学校の10月23日の学芸会、また、新冠中学校では、10月1、2日に学校祭が行われ、2日目には、レ・コード館のステージで合唱コンクールが行われました。それらの活動への真摯な取組姿勢や集団活動のきびきびした態度などに対して、たくさん保護者や地域の方々からうれしい評価を受けたところであります。

### 認定子ども園開設に向けた取組について

認定子ども園開設準備室では、9月30日まで、入園児を募集し、11月7日、保護者の面接を終え、116名の入園を許可したところであります。

このうち、通園バスの対象となる遠距離通園児が、21名おりましたので、通園バスの運行経路や停留所の位置等を説明するため、11月30日から12月2日の3日間、節婦保育所、朝日地域保育所、美宇地域保育所において、地域説明会を開催いたしました。

出席者は、3会場で22名でありましたが、通園バス路線の他、園舎の建築状況やクラス編成、今後の予定について説明してまいりました。

なお、通園バスの運行業務につきましても、業者委託を考慮しておりますが、運転手の確保を早期に図る必要があることから、今年度中に業者を選定するため、平成22から23年度に亘る債務負担行為の議決をい

ただきたく、今期定例会に提案しております。

園舎の建設においては、10月25日には、外構工事の入札を終え、現在、本体工事と調整を図りながら、取り進めているところであります。

### 文化・音楽事業に関する取組について

1つ目は合唱団V.O.Lが11月6日に自主コンサート、11月23日にはレ・コード館ジュニアジャズバンドが第4回目の定期演奏会、12月11日には、市民劇団と・この13回目の定期公演が行われ、文化サークルのネットワークづくりの充実が図られたところであります。

また、レ・コード館と町のPRに、札幌市の石屋製菓白い恋人パークで、出張レコードコンサートを10月9・10日の2日間実施し、活動の拡大を図ったところであります。

さらに、11月18日に町青年団体協議会が主催し、ワインの解禁日に併せた「レコードとワインの夕べ」の開催、12月6日の「音の日」にちなんで、恵寿荘・あいあい荘・ゆーあい天馬・おうるの郷の福祉施設への出張レコードコンサートも実施し、活動の輪を広げたところであります。

### 学社融合に関する取組について

1つ目として、小学4・5年を対象とした「学び・遊ぶ・つうがく合宿」を10月26日か4泊5日で、青年の家において、社会性や基本的な生活習慣の改善・学ぶことの大切さをテーマに実施いたしました。23名の参加があり、社会教育委員、放課

後子ども教室の安全管理員・教員・中学生ボランティアの協力を得て、学校・家庭・地域の一体となった取組が実現できたところであります。

2つ目は、新冠町少年国内研修交流事業についてですが、今年度28名の応募があり、面接・作文による選考の結果、小学生11名、中学生9名、過去に国内研修に参加した高校生1年生のサプリーダー1名を選考し、那覇市や金武町を中心とした研修のために、環境教育や地域学習、集団生活のマナーなど事前学習を行っているところであります。

3つ目は、青年団体連絡会議が企画しました「ふるさと盆踊り」の代替事業として12月5日に「イルミネーション2010」を商工会青年部と新冠町観光協会との共催で実施したところです。レ・コード館前の遊歩道に長さ24メートルのトンネルを作り、イルミネーションライトの中に、子ども達の願いを描いた飾りを装飾したもので、点灯式に併せて様々なイベントが行われ、多くの町民へ発信できたところであります。

4つ目は、図書プラザではプラスワンセミナーとして、管内図書館振興協議会との共催により、子どもと読書に関する講演を実施するとともに、10月27日からの読書週間中には、道・町を題材とした児童書を集めた「ふるさとの子どもの本展」のほか、恒例の「リサイクル市」や「ブックコートフィルム体験事業」、小学校を対象とした「1日司書体験事業」、「アニマル号の巡回、1日図書館長体験事業」などを行いました。

### 郷土資料館事業に関する取組について

今年で開館30周年を迎え、各種記念事業を通して、多くの方々に参加していただきました。

郷土資料館30周年記念誌「30年の歩み」の発行、記念特別展・移動展を開催し、11月19日には「ふるさと新冠の歴史と自然環境」と題して特別講演を開催しております。また、郷文化研究会の協力で御料牧場時代の牧柵「万里のチャシ」と、なつかしの農機具「バタンコ」を資料館前に設置することができました。

### 社会体育事業に関する取組について

総合型スポーツクラブNI・SPOの育成事業として、10月からバドミントン教室を実施し、延べ40名の参加、ドッジボール



## 条 例

については、延べ60名の参加がありました。乗馬体験教室では、小学生低学年を対象に27名の参加があり、スポーツへの興味関心の向上を図ったところであります。

また、一般成人を対象としたダンススタジオエクササイズは、延べ62名の参加、10月11日体育の日には、異世代交流パークゴルフ大会を実施し、30名の参加がありました。また、本年度新しい取組として親子を対象とした親子ふれあい体操教室を開催し、延べ97名の参加があったところであります。

- 新冠町特別表彰条例
- 新冠町課設置条例の一部を改正する条例
- 新冠町職員定数条例の一部を改正する条例
- 新冠町長期継続契約とする契約を定める条例の一部を改正する条例
- 新冠町火葬場条例の一部を改正する条例
- 新冠町老人憩の家設置条例の一部を改正する条例
- 新冠町立国民健康保険診療所事業設置条例の一部を改正する等の条例

### お困りごと・悩みごとは

## 民生委員・児童相談員へご相談を

民生委員・児童相談委員は、日常生活に関する地域の身近な相談相手です。日ごろからお困りごとがある方、援助が必要な方などは、ひとりや家庭だけで悩まず、担当地区の委員にお気軽ににご相談下さい。

またこのたび、3年に一度の改選により新人の方6名を含む21名の方が民生委員・児童委員に委嘱されましたのでご紹介いたします。

なお、前任の民生委員・児童委員の方々にはその功績により、厚生労働大臣並びに北海道知事感謝状が贈呈されました。長い間、本当にありがとうございました。

民生委員は市町村の民生委員推薦委員会の推薦を受けて知事が推薦し、厚生労働大臣から委嘱されます。(任期3年)

また、民生委員は児童委員に充てられることとなっております。



△感謝状贈呈式

### ◇新冠町民生委員・児童委員

氏名	担当地区
村上 美和子	本町の一部
安田 とし	
中村 和子	中央町
徳橋 かある	北星町の一部
瀧澤 久美子	
寺田 トミエ	東町の一部
曾我 澄子	
石田 正胤	東泊津・西泊津
中地 秀夫	高江・朝日
草野 喜昭	緑丘・古岸
斉藤 隆子	大富・万世
小林 みや子	明和・新栄の一部
對馬 正	泉・岩清水・若園・新栄の一部
佐藤 勉	
下 久雄	節婦町の一部
高瀬 敦	大狩部
庄野 照彦	共栄・東川
的場 天道	美宇・新和
佐藤 剛	太陽・里平
鈴木 梅子 (主任児童委員)	新冠町全域
前山 光暁 (主任児童委員)	